



令和6年度 夏休みの作品募集

富士市立富士中央小学校
作品は8月26日(月)提出

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
国語	読書感想文コンクール (富士市教育委員会)	○子どもが本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験し、読書の習慣化を図る。 ○より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。さらに、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。	●小学校低学年の部（1、2年生）700～800字以内 ◇自由読書・・・自由に選んだ図書 （フィクション・ノンフィクションを問わない） ◇課題読書 「アザラシのアニュー」（童心社） 「ごめんねでてこい」（文研出版） 「おちびさんじゃないよ」（イマジネーション・プラス） 「どうやってできるの？チョコレート」（ひさかたチャイルド） ●小学校中学年の部（3、4年生）1,100～1,200字以内 ◇自由読書・・・自由に選んだ図書 ◇課題読書 「いつかの約束1945」（岩崎書店） 「じゅげむの夏」（佼成出版社） 「さようなら プラスチック・ストロー」（光村教育図書） 「聞いて聞いて！:音と耳のはなし」（福音館書店） ●小学校高学年の部（5、6年生）1,100～1,200字以内 ◇自由読書・・・自由に選んだ図書 ◇課題読書 「ぼくはうそをついた」（ポプラ社） 「ドアのむこうの国へのパスポート」（岩波書店） 「図書館がくれた宝物」（徳間書店） 「海よ光れ！:3・11被害者を励ました学校新聞」（国土社） 【低学年～高学年までの共通の注意事項】 ●本人の自筆とする。 ●句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は、字数として数えます。 ●題名、学校名、氏名は字数に数えません。(欄外に書く) ●著者名、書名、発行所は原稿末尾に記入する。(欄外也可)	
	JA共済 書道コンクール (静岡県農業協同組合)	書写に親しみ、表現力の向上を図る	半紙の部 1年「うた」 2年「くるみ」 3年「あさがお」 4年「笑顔」 5年「信じる道」 6年「尊い生命」 条幅の部 1年「つばさ」 2年「はなび」 3年「秋まつり」 4年「美しい湖」 5年「友情の証」 6年「豊富な資源」 楷書「〇年 氏名」左側に記入 1・2年生の学年・氏名は「ひらがな」「漢字」「漢数字」いずれでも可 3年生以上は、学年は「漢数字」氏名は「漢字」アラビア数字は使用しない。 ※校内選考あり 作品返却なし	○
	税に関する習字コンクール (富士納税貯蓄組合連合会)	税に興味を持ち、将来進んで納税しようとする	6年生のみ 課題「税と未来」 半紙 たて書き 楷書 作品左側に(富士中央小 六年 氏名)を記入 ※校内選考あり	○
	人権書道コンテスト (富士市人権擁護委員協議会)	人権をテーマとした書道作品を書くことを通して、豊かな人権感覚を身につける	3年生以上 毛筆で半紙に縦書き 書体:自由 題字 「思いやり」「助けあい」「ともだち」「しんせつ」「なかよし」 「人権」「自由」「未来」「平和」「友情」「親切」「希望」 ●作品の左側余白に学年・氏名を書いてください。 ※作品の返却なし	○
	下水道いろいろコンクール (富士市役所 上下水道営業課)	9月10日の下水道の日になみ、下水道に対する理解を深め、下水道の健全な発達に役立てる	作文 原稿は自筆(パソコンは不可) 作品には、タイトル・学校名・学年・氏名を明記 1～3年生 400字詰め原稿用紙2～3枚以内 4～6年生 400字詰め原稿用紙3～4枚以内 標語 特に制限なし 官製はがきもしくは、はがき大の用紙につき 作品1点を記入 (1人何枚でも応募可) 作品には、学校名・学年・氏名(フリガナ)を明記 (応募票貼付でもOK) 書道 半紙縦使用 作品の左端に学年・氏名を墨書き (学校名不要) 1～3年生 「下水どう」(2行書き) 4～6年生 「下水道の役割」(2行書き) ※作品の返却なし ※全応募作品を市ウェブサイトで展示します。学校名、学年、氏名の個人情報を公開することに同意される場合のみ、応募してください。	○
			※MOA児童作品展での書写の応募はありません。	

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
家庭科	親子レシピコンテスト (静岡県ガス協会)	親子で料理をする中で、調理を通してできるエコについての意識を高める	以前学校でプリントを配付しましたが、学校では募集しません。 応募する場合は、 個人での応募 をお願いします。	
図画工作	JA共済 交通安全 ポスターコンクール (静岡県農業協同組合)	交通安全に対する意識の向上を図る	全学年:「児童生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの」または「自動車自転車などの運転する人に交通事故の防止を呼びかけるもの」 校内選考あり 注意事項:交通ルール上正しい表現をする (例:シートベルト、チャイルドシート、ヘルメットの正しい着用・歩行者右側通行・信号機の色 の配列など注意) 四つ切サイズ(約54cm×約39cm)・画材制限なし 作品の裏に 学校名・学年・氏名(ふりがな) →【 名札あり 右下に貼る】	○
	下水道いろいろコンクール (富士市役所 上下水道営業課)	下水道に対する興味を持ち、理解を深め、下水道の健全な発達に役立てる。	全学年 「日常生活の中で下水道に関する事柄について自由に表現する」 B4～A2判以内(八つ切り、四つ切り 可) 画材の指定なし 注意事項:ポスターに文字を入れる場合は、「9月10日下水道の日」のみ入れてよい。 作品裏面に、学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 →【 名札あり 裏面に貼る】 ※出品された作品は返却されません。 ※全応募作品を市ウェブサイトで展示します。学校名、学年、氏名の個人情報を公開することに同意される場合のみ、応募してください。	○
	地球温暖化防止ポスター (富士市環境部 環境総務課)	地球温暖化防止を啓発する	4・5・6年生 注意事項:地球温暖化防止を呼び掛ける標語(言葉は自由)を必ず書く 四つ切り画用紙を縦に使用 描画材料は、絵の具またはポスターカラー 裏面に学校名・学年・氏名(フリガナ)を明記 →【 応募票を裏面に貼る 】 画用紙を横に使用した作品は審査対象外	○
	①ポイ捨て禁止 ポスター ②のこさず食べようポスター ③食品ロス削減ポスター (富士市環境部 廃棄物対策課)	食品ロスの削減推進とごみ減量、リサイクルの推進	①ポイ捨て禁止ポスター部門:1・2・3年生 注意事項:ポイ捨て禁止に関する文字を必ず入れる 四つ切り画用紙を縦に使う 画材の指定なし(立体物を貼り付け不可) 裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 →【 応募票を裏面下部に貼る 】 ②のこさず食べようポスター部門:1・2・3年生 注意事項:「食べきり」の啓発に関する文字を必ず入れる 四つ切画用紙を縦に使う 画材の指定なし(立体物を貼り付け不可) 裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 →【 応募票を裏面下部に貼る 】 ③食品ロス削減ポスター:4・5・6年生向け 注意事項:「食品ロス削減」の啓発に関する文字を必ず入れる。 四つ切り画用紙を縦に使う 画材の指定なし(立体物を貼り付け不可) 裏面に学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記 →【 応募票を裏面下部に貼る 】 ①②③とも画用紙を横に使用した作品または、立体的作品は審査対象外	○
	MOA児童作品展(絵画) (MOA美術館)	子供の豊かな感性、のびのびとした表現を奨励する	全学年:テーマ自由 四つ切サイズまたはB3(作品が小さい場合は、B3サイズの台紙に張る。)厚紙不可 水彩絵の具・パステル・カラーペン・クレヨン(鉛筆・色鉛筆だけで描いた作品は不可) ポスター、工作に近い作品、破損しやすい作品は応募不可 学校名・学年・氏名(ふりがな)、作品名を明記 →【 応募票を裏面左下に貼る 】	○
	(読書感想画コンクール) (どうぶつの絵コンクール)		以前学校でプリントを配付しましたが、学校では募集しません。 応募する場合は、 個人での応募 をお願いします。	
算数他	統計グラフ (静岡県教育研究会)	日常生活の体験や事象を統計的に表現する技能を育て、統計の正しい見方や考え方の普及向上を図る	B2判(72.8cm×51.5cm)の画用紙またはケント紙 1枚 希望者には配付(先着順) 題材は自由(事前に説明会を行います。) 4年生以下は子どもが自ら観察または調査した結果をグラフにする 裏面の板張り(パネル仕上げ)や表面のセロハンカバー、2枚以上にわたるシリーズものは不可 観察・調査の記録または取材資料はA4判の用紙に記載 なお、取材資料が3枚以上になる場合は封筒に入れても可 詳細は学校へ問い合わせください。	

部門	応募名	テーマ	内容や注意することなど	参加賞
理科	富士市発明くふう展 (富士市発明くふう展 実行委員会)	産業発展の原動力となる発 明くふうに対する関心を高め る	身の周りの不便さを何とか便利にしようと考えたもの 廃物を有効に活用したものなど。 実物またはその模型。 作品票を添付。	
	富士市小中学校 科学作品展 (静岡県教育研究会) 	観察や実験を通し、科学に対 する興味・関心を高める。 	実験の題名 学校名 学年 氏名 1 はじめに(実験の動機) ・なぜ、この観察や実験をしようと思いついたのか、詳しく書く。 2 実験の目的 ・実験を通して、追求することを明確にする。 3 実験の方法 ・実験や観察では、何を実験・観察するのか、調べるものをはっきり させる。 ・仮説を立て、どのような実験をしたら仮説が正しいと考えられるか、 工夫する。 ・実験方法を箇条書きで詳しく書く。図や写真を用いることも効果的。 ・1つの実験だけでなく、関連するいくつかの実験や観察を行う。 4 実験結果 ・実験した結果を表や図、グラフ、写真などで表す。 5 わかったこと(実験の考察) ・観察や実験を通して、ということが分かったのかを項目別を書く。 ・仮説が間違っていたときは、追加の実験を試みる。 6 反省・今後の課題・感想 ・この実験を通して感じたことや感想を書く。また、これからさらに 調べていきたいことを書く。 ※陳列作品は、A4判(無けい又は横けいの用紙) 掲示作品は、模造紙(縦長、横書き) を推奨します。 ※県学生科学賞に出品できるのは、A4判の作品のみです。	

※この配付物(夏休みの作品応募の用紙)は、本校のホームページ(学校だよりのページ)にも載っています。